

教育研究業績書

所属	職名	氏名	学位
現代文化学部	助教	光成 有香	博士(地球環境学)

I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年月日	概要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) Google Classroomを活用した授業の実施	2021年9月～現在	Google Classroom上で授業アンケート、授業資料や課題の配布、確認テスト、オンライン授業を実施した。学生の意見や要望を次回授業の改善にすぐ役立てることができた。
アクティブラーニングを取り入れた授業の実施	2021年9月～現在	ほとんどの担当科目で毎回グループディスカッション、ペアワーク、プレゼンテーションなど、アクティブラーニングの要素を取り入れた授業を実施した。
ミニツッペーパーの配布とそれに対するフィードバックによる授業内容の定着促進	2021年9月～現在	毎授業後にミニツッペーパーを配布し、確認テストの実施、感想・質問の受付を行った。受講直後の振り返り、翌週の授業冒頭にフィードバックや解説を行い、次の授業への導入をスムーズにした。
(2)作成した教科書・教材・参考書 授業資料	2021年9月～現在	パワーポイントで作成した授業スライドを毎回Google Classroomにて事前布した。学生が理解しやすい内容となるよう、事例として身近な企業や商品を多く取り上げた。
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等 なし		
(4)その他教育活動上特記すべき事項 なし		

II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
なし					
(論文)					
特色ある酪農経営から見た現行酪農制度の問題点	単著	2018年10月	農業経営研究56(3)		pp.32-37
特色ある牛乳の潜在的需要者層の抽出	共著	2019年10月	農業経営研究57(3)	光成有香・吉野章	pp.71-76
日本チーズ工房立ち上げの現状と課題	単著	2020年5月	畜産の研究74(5)		pp.391-398
国産バターの商品価値競争力の評価:グラスフェッド属性を付加した選択実験に基づいて	共著	2021年7月	農業情報研究30(2)	光成有香・吉野章	pp.45-72
ニュージーランド酪農の現状と経営環境分析	単著	2021年8月	畜産の研究75(8)		pp.639-648
(その他)					

【学会発表等】					
特色ある酪農経営から見た現行酪農制度の問題点	単独	2017年9月	平成29年度日本農業経営学会研究大会, 九州大学		
「特色ある牛乳」の潜在的需要層の抽出	共同	2018年9月	平成30年度日本農業経営学会研究大会, 筑波大学	光成有香・吉野章	
日本チーズ工房立ち上げの現状と課題	共同	2019年9月	令和元年度日本農業経営学会研究大会, 東北大学	光成有香・吉野章	
Innovation for Sustainable Dairy Management in Japan	単独	2019年9月	The 2nd Kyoto University-Universität Hamburg Symposium		
市場開放を想定した国産乳製品に対する消費者選好分析	共同	2020年8月	乳の学術連合(オンライン開催)	光成有香・吉野章	
【競争的資金獲得状況】					
2019年度「乳の社会文化」学術研究	共同	2019年4月～2020年3月	乳の学術連合 乳の社会文化ネットワーク	光成有香・吉野章	
【研究報告書】					
特色ある酪農経営の展開の可能性—制度および消費者市場に注目し	単著	2019年3月	京都大学大学院地球環境学舎環境マーケティング論分野	吉野章監修	全頁
市場開放を想定した国産乳製品に対する消費者選好分析	共著	2021年4月	乳の学術連合(オンライン公開)	光成有香・吉野章	全頁
【寄稿・コラム等】					
日本を救う!? 山地酪農の世界	単著	2018年9月	マイファームつくる通信 2018年9月号		p.14
ワールドリポート 未来の畜産女子育成プロジェクト・NZ酪農研修	単著	2018年12月	DAIRYMAN68(12)		pp.68-69
ワールドリポート 周年放牧,1回搾乳などNZの特徴を深掘り	単著	2019年12月	DAIRYMAN69(12)		pp.58-59
Ⅲ 学会等及び社会における主な活動					
2014年11月～2020年3月	国際農業者交流協会「海外農業研修プログラム」講習助手				
2014年11月～2020年3月	国際農業者交流協会「未来の畜産女子育成プロジェクト・ニュージーランド酪農研修」指導員				
2020年2月～2020年3月	全国放牧畜産ネットワーク推進委員				